

原稿作成の手引き（案）

(1) 原稿は必ず Microsoft Word（docx 形式）で作成すること。本研究会が原稿フォーマットとして用意した docx 形式ファイルを書き換えることにより、原稿を作成することが推奨される。

(2) 原稿のレイアウト設定は以下の通り：原稿サイズは A4（幅 210 mm×長さ 297 mm）、文字数は 40、行数は 36、余白は上下左右とも 30 mm、フォントは游明朝（日本語）および Times New Roman（半角英数字）。全角の英数字は使用しないこと。ローマ字の表記はすべてヘボン式で書き、アクセント記号や長音記号は使用しないこと（固有名詞を除く）。ヘッダーおよびフッター部分には何も記入しないか、原稿フォーマットを使用する場合には手を加えないこと（編集委員会で記入する）。

(3) 原稿 1 ページ目には、本文の前に順に次の項目について記載すること：日本語タイトル、英語タイトル、日本語著者名、英語著者名、日本語所属、英語所属。それぞれの間は一行空ける。

〔タイトル〕

中央揃えにする。原稿 1 ページ目の 1 行目に日本語タイトル（12 ポイント、太字）。複数行にわたっても良いが、内容を反映した短いタイトルにすることが推奨される。

改行して、英語タイトル（9 ポイント、太字）。英語タイトルは各単語の頭文字を大文字にする。ただし、文頭を除き、前置詞（of や in）、接続詞（for や and）、冠詞（a や the）は小文字のままにする。

〔著者名〕

両端揃えにする。タイトルから一行空けて、著者名（日本語、12 ポイント）。複数の著者がいる場合は「・」でつなぐ。各著者には所属を示す数字を順に 1 からふり、上付き文字の機能で各著者の右上につける（著者名との間にスペースは不要）。特定の著者に複数の所属がある場合には「,」（全角のカンマ）を使用して^{1, 2}等とつけること。

改行して、著者名（英語、9 ポイント）。ファーストネーム、ファミリーネームの順に書き、間は半角スペース空ける。ファミリーネームはすべて大文字にする。複数の著者がいる場合は「,」（半角のカンマと半角スペース）でつなぐ。各著者には所属を示す数字を順に 1 からふり、上付き文字の機能で各著者の右上につける（著者名との間にスペースは不要）。特定の著者に複数の所属がある場合には「,」（半角のカンマと半角スペース）を使用して^{1, 2}等とつけること。

〔所属〕

両端揃えにする。所属の先頭に著者に対応する番号を上付き文字で付け、所属の名称と所在地を書く（12 ポイント）。名称と所在地の間には「,」（全角カンマ）を挿入し、所在地の最期には「.」（全角のピリオド）をつける。複数の所属を書く場合には、先の所在地に続いて同様に書く（スペースを空けず、改行もしない）。

改行して、英語の所属を書く。名称と所在地の間には「,」（半角カンマと半角スペース）を挿入し、所在地の最期には「.」（半角のピリオド）をつける。複数の所属を書く場合には、先の所在地に続いて同様に書くが、半角スペースを空けること。

(4) タイトル、著者名、所属の後に一行空けてから、本文を書き始める。原則として、章立てによる構成にすること。各章題は太文字にして、中央揃えにする。章題が2文字（例えば、結果）の場合には、「○ ○」（例えば、結 果）のように文字の間に全角スペースを挿入する。章題から改行し、左詰めの両端揃えで文章を書く。文章は1行目のインデントを全角1文字分の下げに設定し、段落構成にする。句読点は「,」（全角カンマ）および「.」（全角ピリオド）を使用する。括弧等もすべて全角。

(5) すべての数値は半角で記入し、三桁ごとに半角のカンマを挿入すること。なお、範囲を表す際には、「～」（全角）または「-」（エンダッシュ）を用いる。ただし、本文中において「～」と「-」は併用せず、どちらかに統一すること。

例	備考
100	すべて半角。
1,000,000	すべて半角。三桁ごとにカンマ（半角）を挿入。
100～1,000	範囲を表す場合は「～」または「-」（エンダッシュ）を使用し（どちらかに統一）、それらの前後はスペースを空けない。

(6) 単位の表記は国際単位系（SI）に従うこと。数値と単位の間は半角スペースを空ける。

例	備考
1 km	半角で書き、kmといった記号は使用しない。
10 m ²	二乗は Word の上付き文字機能を使用し、m ² といった記号は使用しない。
20 °C	温度の単位は°C と書き、°Cを使用しない。

(7) 特定の道具・機器等は、商品名、型番、メーカー、そのメーカーの所在地も併記することが望ましい。

例	備考
pH/EC/TDS/°C テスター (HI 98129N, Hanna Instruments, Inc., Woonsocket, RI, USA)	型番、メーカー、所在地は「,」（全角カンマ）で区切る。
水生昆虫稚魚すくい網 (HOGA, 京都市)	型番が不明な場合は省略しても良い。日本国内のメーカーの場合は、国名は省略。

(8) 採集地や観察地の情報は、各生物の保全状況を鑑みて、十分に配慮する。環境省や県のレッドリストにおける高ランクの掲載種（絶滅危惧Ⅰ類等）や、国内希少野生動植物に指定されている場合には、原稿提出時に編集委員に相談したうえで、詳細な生息地の非掲載が認められる（掲載は市町村までにする等）。また、編集委員会が詳細な生息地の非掲載を要請する場合がある。非掲載とする場合には、その旨を理由とともに本文中に記載する。

(9) 初出の生物名は標準和名と学名を併記する。和名と学名の間は半角スペースを空ける。二回目以降は和名のみで良い。和名がない場合は、学名のみで良い。学名は属名と種小名（および亜種名・変種名）を斜体にすること。その学名が初出である際は、命名者も表記すること。可能であれば、発表年も表記する。二回目以降の学名は、属名や下位分類があるなら種小名を省略形にしても良いが、異なる属や種の生物同士が同じ省略形になってはいけない。学名は最新の分類体系に従ったものとし、信頼できる最新のリストや論文等を参考に表記する。例えば、GBIF（地球規模生物多様性情報機構）のデータベースにアクセプトされているものや、『植物和名－学名インデックス YList』（米倉浩司・梶田忠 2003-）といった信頼できるデータベースに掲載されているものを使用する。また、種名が確定できない場合は、「○○属の一種」のように書く（必ず漢数字で書くこと）。

表記例：

ネモトシャクナゲ *Rhododendron brachycarpum* D.Don ex G.Don f. *nemotoanum* (Makino) Murata

ソメイヨシノ *Cerasus x yedoensis* (Matsum.) Masam. et S.Suzuki 'Somei-yoshino'

ゲンゴロウ *Cybister chinensis* Motschulsky, 1854

オオムラサキ *Sasakia charonda charonda* (Hewitson, 1862)

トゲマダラカゲロウ属の一種 *Drunella* sp.

(10) 本文中の引用については、次の例を参考にする。

日本語の文献を引用する場合：

例	備考
大平 (2025) では...	括弧は全角。
大平 (2025, 2026) では...	同一著者による異なる発表年の文献を同時

	に引用する場合。括弧は全角、カンマは全角、発表年順に並べる。
大平（2025a, b）では...	同一著者による同年発表の文献を同時に引用する場合。括弧は全角、カンマは全角、aから順に並べる。
大平・福島（2025）では...	著者がふたりの場合。括弧は全角。
大平ら（2025）では...	著者が三人以上の場合。括弧は全角。
...とされている（大平, 2025）.	括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。
...とされている（大平・福島, 2025）.	著者がふたりの場合。括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。
...とされている（大平ら, 2025）.	著者が三人以上の場合。括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。
...とされている（大平ら, 2018; 福島, 2025）.	複数の文献を同時に引用する場合。括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。セミコロンは全角、発表年順に並べる。

英語（または日本語以外の言語）の文献を引用する場合：

例	備考
Ohira（2025）では...	括弧は全角。
Ohira（2025, 2026）では...	同一著者による異なる発表年の文献を同時に引用する場合。括弧は全角、カンマは全角、発表年順に並べる。
Ohira（2025a, b）では...	同一著者による同年発表の文献を同時に引用する場合。括弧は全角、カンマは全角、aから順に並べる。
Ohira & Fukushima（2025）では...	著者がふたりの場合。括弧は全角。著者を繋ぐ&（半角）の前後はそれぞれ半角スペース空ける。
Ohira <i>et al.</i> （2025）では...	著者が三人以上の場合。括弧は全角。 <i>et al.</i> は斜体。
...とされている（Ohira, 2025）.	括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。
...とされている（Ohira & Fukushima, 2025）.	著者がふたりの場合。括弧は全角。著者を繋ぐ&（半角）の前後はそれぞれ半角スペース空ける。著者名のあと、全角カンマ、発表

	年。
...とされている (Ohira <i>et al.</i> , 2025).	著者が三人以上の場合。括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。et al.は斜体。
...とされている (Ohira <i>et al.</i> , 2018；福島, 2025).	複数の文献を同時に引用する場合。括弧は全角。著者名のあと、全角カンマ、発表年。セミコロンは全角。発表年順に並べる。

(12) 謝辞は必要に応じて章立てする。当該の記事に関する調査や研究を行うにあたって、便宜を図ってくれた恩人や組織に対する謝辞を述べるほか、研究資金を得ている場合や採取許可等を受けている場合には、課題番号や許可番号等を伴ってここに表記すること。

(13) 引用文献のリストは、本文と同様に引用文献の章を立て、改行してから書き下す。章タイトルは「引用文献」とする。リストは、1行目のインデントを設定せず、ぶら下げインデントで全角2文字分下げる。アルファベット順、発表年順に書き下す。同一著者による同発表年の文献がある場合は、出版された順に並べることとし、発表年のあとに「a」や「b」を加えて区別する。各生物の記載論文については、学名の表記のみに使用されている場合は引用文献リストに含めない。また、オンライン上の記事やデータベース等を引用する場合は、大学や公的機関の記事や、広く引用されているデータベース等の信頼できるものに限る (Wikipedia や個人ウェブブログといったものは認めない)。

引用文献の表記方法は、基本的に APA 準拠とする。雑誌が英語または日本語以外の媒体による場合は、雑誌名を斜体にする。学名 (属名や種小名等) は斜体にする。ページの範囲は「-」(エンダッシュ) を使用して表す。

[日本語の雑誌を引用する場合]

大平創, 塘忠顕. (2018). 裏磐梯・猪苗代地域の河川におけるカゲロウ・カワゲラ・トビケラの記録. 福島生物 61, 16-27.

大平創. (2025a). 十日町市松之山におけるゲンゴロウ類の追加記録. 「森の学校」キョロロ研究報告 6, rk202502.

大平創. (2025b). ヤチアミメトビケラの幼虫はクロサンショウウオの卵を捕食するか? 「森の学校」キョロロ研究報告 6, rk202503.

[日本語以外の雑誌を引用する場合]

Ohira, H., Kaneko, S., Faulks, L., Tsutsumi, T. (2018). Unexpected species diversity within Japanese *Mundochthonius* pseudoscorpions (Pseudoscorpiones: Chthoniidae) and the necessity for

improved species diagnosis revealed by molecular and morphological examination. *Invertebrate Systematics* 32, 259–277.

Ueno, S., Hasegawa, Y., Kato, S., Mori, H., Tsukada, H., Ohira, H., Kaneko, S. (2023). Rapid survey of *de novo* mutations in naturally growing tree species following the March 2011 disaster in Fukushima: the effect of low-dose-rate radiation. *Environment International* 174, 107893.

[書籍を引用する場合]

塘忠顕 (編著). (2016). '裏磐梯・猪苗代地域の環境学'. 福島民報社, 福島.

中島淳, 林成多, 石田和男, 北野忠, 吉富博之. (2020). ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 文一総合出版, 東京.

日本昆虫目録編集委員会 (編). (2022). 日本昆虫目録 第6巻 鞘翅目 (第1部). 権歌書房, 福岡.

Weygoldt, P. (1969). The Biology of Pseudoscorpions. Harvard University Press, Cambridge, MA.

[書籍の一部を引用する場合]

塘忠顕, 増渕翔太, 大平創. (2016). 裏磐梯地域に生息する底生動物. In '裏磐梯・猪苗代地域の環境学 (塘忠顕 編著).', pp. 151–161, 福島民報社, 福島.

Hilsenhoff, W. L. (1991). Diversity and classification of insects and collembola. In 'Ecology and Classification of North American Freshwater Invertebrates (Thorp, J. H. & Covich, A.P., eds).', pp. 587–657, Academic Press, California, USA.

[ウェブサイトを引用する場合]

環境省 (2020) 環境省レッドリスト 2020, <https://www.env.go.jp/content/900515981.pdf> (2025 年 7 月 17 日確認).

米倉浩司・梶田忠 (2003-) BG Plants 和名ー学名インデックス (YList) , <http://ylist.info> (2025 年 7 月 17 日確認) .

World Pseudoscorpiones Catalog (2022) World Pseudoscorpiones Catalog. Natural History Museum Bern, <http://wac.nmbe.ch> (accessed on July 17, 2025).